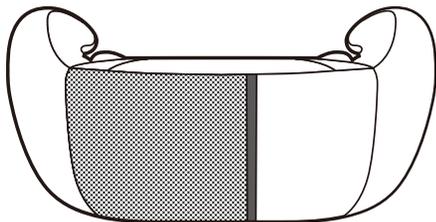


Cradle

クレイドル ジュニアシートSB



企画・販売元 株式会社シーエー産商
お客様相談窓口

0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日・金曜日・弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

RC6103-RC6104-2025-11

Cradle

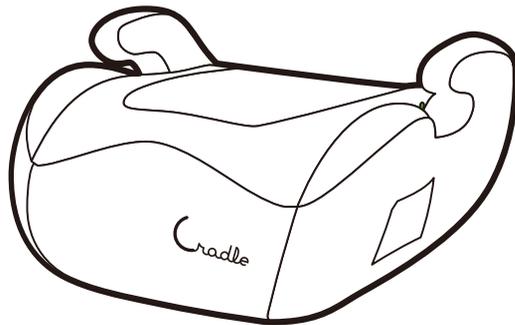
クレイドル ジュニアシートSB

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。

Universal belted

3点式シートベルト

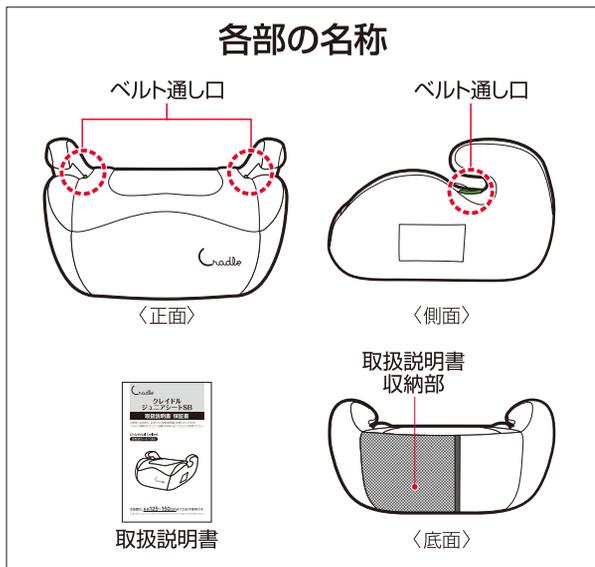


本装置は、身長**125~150cm**までのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

目次

■各部の名称	1
■ご使用になる前に	2
本装置について/ご利用にあたって	2
使用できるシートベルト	3
使用できないシートベルト	4
安全にご使用いただくために	5
■本装置を使用する	7
お子様を乗せる前に	7
お子様の乗せ方/降ろし方	
■お手入れのしかた	9
カバー類の取り外し	9
座力カバー・座面等	
■困ったときには	9
■保証規定/保証書	10



ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)[※]に適合しており、身長が125～150cmまでのお子様を対象とした、R129改良型年少者用補助乗車装置です。

※UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP(QRコードを)をご覧ください。



本装置は、身長が125～150cm(7歳頃～12歳頃)までのお子様にご使用いただけます。

本装置は、3点式シートベルトが装備されている車両に装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず本製品の『取扱説明書』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

ご不明な点は、お買い求めになった販売店または弊社「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

⚠ 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

⚠ 注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用いただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

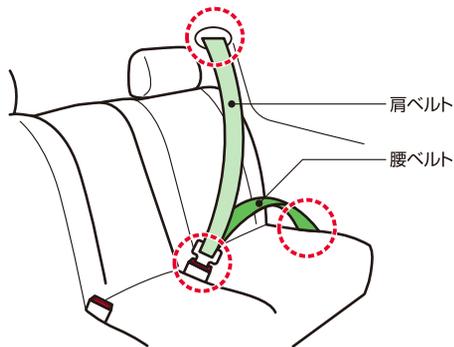
✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

使用できるシートベルト

3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。

(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



3点式シートベルトの種類

 **ELR緊急ロック式**
〈巻き取り機能付〉

ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。

 **ALR/ELR**
〈チャイルドシート固定機能付〉

すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。

 **その他**

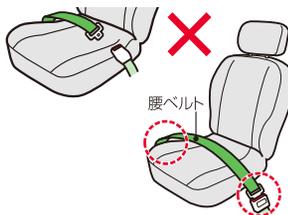
上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の「取扱説明書」をご確認ください。

使用できないシートベルト

●2点式シートベルト。

※腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



●車両のバックル、シートベルトが座面と背もたれよりも10cm以上前に出ている。



●肩ベルトの出口が座席よりも前にある。 (背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります。)



●自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)※が装備されている。 ※ドアを開めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



●腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている。



●受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある。 (車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。)

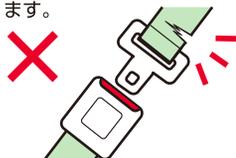
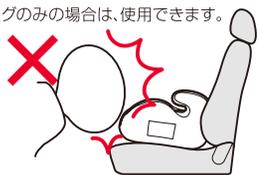


安全にご使用いただくために

⚠ 警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本装置は「取扱説明書」通りに取り付けてください。
- 座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下の座席には取り付けできません。
- 車両座席の種類や形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用してください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや調節は絶対にしてしないでください。
- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例：片側スライドドアのドア側座席など)
- お子様を乗せたまま、車両から決して離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- 助手席や進行方向に対して、横向きや後ろ向きの座席には取り付けしないでください。
- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- 車両のシートベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合があります。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバーを外して使用しないでください。
- 事故を起こした場合、見た目に問題が無くても、ご使用しないでください。



⚠ 注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には、取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないでください。
- 車両のシートベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあります。
- 直射日光があたると、本装置やシートベルトのタングなどが熱くなってヤケドをするおそれがあります。お子様を乗せる前に各部に触れて熱くなっていないかを確認してください。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際に、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください。(本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く)。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。
- カバー類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



本装置を使用する

お子様を乗せる前に

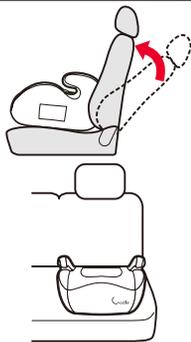
身長が125cm以上のお子様にご使用いただけます。

※本装置は安全上、後部座席に取り付けることをお勧めします。

車両の座席がリクライニングできる場合は、起こした位置で本装置を使用してください。

極端に倒した位置で使用すると、事故などの衝突時にお子様の身体がシートベルトの下からすり抜けたり、首に掛かったりする場合があり、非常に危険です。

本装置は車両の背もたれとの間に、大きな隙間がないように設置します。

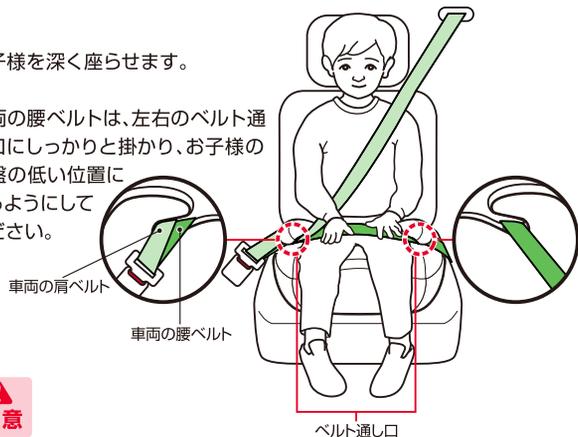


お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせませす。

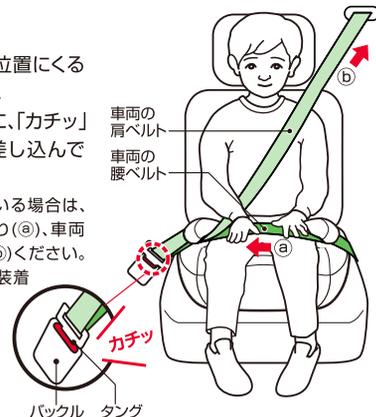
車両の腰ベルトは、左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の骨盤の低い位置にくるようにしてください。



2

車両の肩ベルトは、肩の位置にくるように調節してください。タングを車両のバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

※車両の腰ベルトが緩んでいる場合は、車両の腰ベルトを引っ張り(㉔)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㉕)ください。確実にフィットするように装着してください。



取り付け後の確認

- 本装置と車両の背もたれとの間に、大きな隙間がない。
- 車両のシートベルトに、ねじれがない。
- 車両の腰ベルトがお子様の骨盤の低い位置にあり、車両の肩ベルトがお子様の首に掛かっていない。
- 座面左右にあるベルト通し口に、車両のシートベルトがしっかり掛かっている。
- 車両のバックルにタングが確実にセットされている。

お子様の降ろし方

車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

補足

本装置を使用しない場合でも、タングをバックルに差し込み、固定してください。
※本装置が移動してケガするおそれがあります。

